

岡安盛男

月刊FX相場予報

2011/12/20
20:00~21:00



フォレックス・ドットコムジャパン株式会社

はじめにお読みください

月刊FX相場予報では過去の動きのポイントをレビューすることで、相場の流れをつかんでいきます。そして、その流れに沿いながらこれから、今月の相場を読み解いていきます。

特に注目される材料を見つけ、それによってどの通貨にどのような影響を与えるのかを岡安独自の視点で解析します。また、最後の数分間で視聴者のご質問などにチャットを通してお答えしていきます。難解な質問でも構いません。どのような質問でもお答えしていくつもりですのでどしどし時間がある方はチャットよりお願いします。

FOREX.com (フォレックス・ドットコム)

チーフアナリスト 岡安盛男

<当社主催のセミナーについて>

本セミナーにて紹介する内容は、為替取引に関する情報ですが、通貨の種類に関わらずその売買を推奨するものではありません。本セミナーにて紹介する内容は、特定の投資目的、金融情勢、あるいは特定の方のニーズを考慮ものではありません。本セミナーにて紹介する情報は、信頼できる情報源から入手されたものですが、その正確性、完全性を保証するものではなく、当該情報または意見を信頼したことにより起因して発生するいかなる直接的、間接的または結果的損失についても、弊社はいかなる責任も負いません。投資に関する判断の最終決定は、ご自身で判断されますようお願いいたします。当セミナーにおいて、弊社の外国為替証拠金取引への勧誘を行う場合もございます。

本日のセミナー内容

前半：前回からの相場レビュー

- 今後の注目点
 - ・・・欧州債務問題と米国景気のバランスの崩れ
 - ・・・安全資産は？金、ドル、円、スイス、株、債券

後半：2012年の為替相場見通し

今年1年間の主な出来事

テクニカル&ファンダメンタルズからのアプローチ
月足チャートから各通貨を予想

ドル円

ユーロドル

豪ドル

ユーロスイス

前回からの相場レビュー

11月29日～12月02日

- ユーロ圏財務相会議

ギリシャへの80億ユーロ追加実施合意

EFSFを事実上1兆ユーロに増強

100億ユーロの現金を常備

- 日米欧6中銀がドル資金供給拡充のため協調合意・・・FRBは金利1.0%を0.5%へ引き下げ ⇒ドル売り加速
- 中国、預金準備率0.5%引き下げ
- 日銀の10月末からひと月の介入額9兆円(覆面介入も実施)
- 米ISM製造業 52.7(予51.8)⇒景気回復期待
- 米11月雇用統計 12万人増(予12.5万人)
失業率8.6%(予9.0%) ⇒ドル買い

前回からの相場レビュー

5日～11日

- **S&P・・・15カ国格下げ方向で見直す**
- 独仏首脳会議・・・財務規律に向け新たな財務パッケージ承認
- RBA,政策金利0.25%引き下げ 4.5%⇒4.25%・・・追加引き下げの可能性示唆
- BOC,政策金利1.0%据え置き
- 豪州第3四半期GDP1.0%(前1.2%)
- RBNZ政策金利2.5%据え置き
- ドイツ5年国債入札、目標額50億ユーロに対し86.7億ユーロ応札
- G20,日米欧の借り入れでIMFに6000億ドル規模の融資枠設定・・・欧州支援1兆ドル確保検討に入る
- BOE,政策金利0.5%据え置き、2750億ポンド資産購入規模維持
- **ECB,政策金利0.25%引き下げ1.0%へ、期間3年の資金供給策を設定**
- **ドラギ総裁、域内の国債購入を大幅増額やIMFを介した資金支援には否定的**

前回からの相場レビュー

- **EU首脳会議・・・新たな財政規律強化策**

26カ国が新条約に参加、財政赤字ゼロの達成と維持を義務付け2012年3月までに署名

安全網強化策・・・EFSFに加え、欧州がIMFに融資、ESM設立を2012年7月に前倒し 2000億ユーロの救済基金追加出資と上限5000億ユーロの救済基金設立(3月までに見直し)を表明

ECBの国債購入拡大策は不透明、ESMに銀行免許を付与しECBからの借り入れ計画も断念

英国が財政規律強化に猛反発・・・

独がユーロ共同債導入に現時点で反対、フランスのEFSFを銀行としECBが貸し出すとの案にも反対

前回からの相場レビュー

12日～19日

- ムーディーズ、EU首脳会議で債務危機解決措置不十分のため来年3月までに格付け見直し
- 独メルケル首相、ESMの融資上限引き上げ案に反対⇒ユーロ売り
- FOMC声明 QE3は温存
ゼロ金利現状維持・・・追加緩和には触れず
世界経済減速にも拘わらず米経済は穏やかに拡大(労働市場もいくらか改善)
国際金融市場は引き続き大きな下振れリスク
⇒ドル買い⇒ユーロ売り
- イタリア5年国債入札、上限30億ユーロ調達 入札利回り6.47%97年以降最高
⇒10年国債利回り7.22%に上昇 ⇒ユーロ売り
- フランス格付け引き下げの噂
- OPEC,生産目標引き下げ⇒原油価格下落⇒ドル買い

前回からの相場レビュー

- スペイン5年国債入札60.3億(上限35億)5.69%(前5.43%)
- フィッチ、フランスを含めた欧州7カ国格付け引き下げ方向で見直し
- **北朝鮮の金正日総書記死去で有事のドル買い**
- ユーロ圏財務相電話会合でIMFへ1500億ユーロの資金拠出合意
- ECBドラギ総裁、来年の欧州景気下振れリスクへの懸念を示し、ECBが国債購入拡大はEU条約に抵触する⇒ユーロ売り

今後のポイント

- 年末から年初にかけてドル需要の高まりからドル買いに反応し易い状況
- 薄商いの中でユーロ売りを仕掛け易いものの、往って来いとなる可能性大きい。
- リスクの高まりにより金や株式の利食い売りが強まり、債務国債権の売り相殺

月間レンジ11月28日～12月19日

- ドルインデックス 79.20～80.26
- WTI (ドル) 98.21 ~ 93.53 Hi 101.30
- NYダウ(ドル) 11,523 ~ 11,866 HI12,196
- 金価格(ドル) 1,710 ~ **1,596** **Hi1756**
- 米10年債利回り(%) 1.974 ~ 1.809
- ドル円 78.00 ~ 78.00
- 豪ドル円 77.20 ~ 77.20 Hi80.50
- 豪ドルドル 0.9895 ~ 0.9895 Hi1.0300
- ポンド円 121.15 ~ 121.00
- ユーロ円 **103.80 ~ 101.45**
- ポンドドル 1.5500 ~ 1.5500
- ユーロドル **1.3310 ~ 1.3000**

金価格(黄)、NYダウ(赤)、豪ドル円(青)

AUDJPY ↓ 77.439 +.202 BGN 77.430/77.447 BGN **CurrencyG**
 At 11:24 Op 77.237 Hi 77.561 Lo 77.216 Close 77.237 Value 12/22/11

AUDJPY BGN Cur 96) 編集 97) 77.7307 98) 7.477マーク G 35 - DLRindex
 01/20/2011 12/20/2011 日足 配置 重ねグラフ カスタム通貨



Australia 61 2 9777 8600 Brazil 5511 3048 4500 Europe 44 20 7330 7500 Germany 49 69 9204 1210 Hong Kong 852 2977 6000
 Japan 81 3 3201 8900 Singapore 65 6212 1000 U.S. 1 212 318 2000
 Copyright 2011 Bloomberg Finance L.P.
 SN 167525 H432-472-3 20-Dec-11 11:24:28 GMT+9:00

後半：2012年相場予想

- 2011年主な出来事
- 2011年総括
- 2012年為替見通し1
- 2012年為替見通し2
- 2012年の注目ポイント
- 月足でみた

ドル円/ユーロドル/ユーロ円/豪ドル円/ユーロスイス
/ユーロポンド/

2011年主な出来事

1月～3月

- 中国外貨準備2兆8500億ドル(+18.7%)・・9月3.2兆ドル
- 豪州大洪水被害
- S&P,日本の格付けAA⇒AA- 引き下げ
- ジャスミン革命:エジプト全土でデモ 中東の民主化デモ激化、その後イラン、リビア、バーレーン、イエメン、東アフリカ、中国などへ
- 東北大震災後ドル円76円25銭⇒協調介入で85円ミドルへ

2011年主な出来事

4月～6月

- ECB政策金利0.25%引き上げ⇒1.25%
- 福島原発レベル7
- 日本貿易収支大幅減少
- ビンラディン容疑者殺害
- 武田薬品、スイス企業買収96億ユーロ
- ムーディーズが日本格下げB1⇒Caa1 ネガティブ
- FOMC, QE26月末で終了
- ギリシャ議会、中期財政再建法案可決

2011年主な出来事

7月～9月

- 米HIAの可能性でドル上昇
- ECB政策金利0.25%引き上げ1.5%へ
- 米雇用統計予想以上に悪化
- イタリア債務問題広がる
- 米国債務上限引き上げ法案大きくずれ込み最終合意
- ドル円76円台で今年2回目の単独介入
- S&P、米格付け引き下げ AAA⇒AA+ ネガティブ(2年間) 中期的な債務構造の安定に不十分
- SNB,無制限介入でスイスフランをユーロと1.2のペッグ
- ムーディーズ、日本格下げ Aa2⇒Aa3

2011年主な出来事

10月～12月

- 独連邦議会、EFSF昨日拡充法案可決
- ギリシャ、2011年財政赤字目標達成不能⇒デフォルト懸念
- ムーディーズ、イタリア格下げAa2⇒A3 ネガティブ
- EU財務相会合キャンセル、EU首脳会議で包括合意
- ドル円75円67銭最安値更新⇒3度目の単独介入実施
- ECB利下げ1.5%⇒1.25% ドラギ新総裁
- イタリア10年国債7.4%へ
- ギリシャのパンドレウ、イタリアのベルルスコーニ辞任
- 独国債入札札割れで日本国債利回り一時1.03%に上昇⇒S&P,国債ダウングレードに近づく
- 日米欧6中銀、ドル資金供給協調対応で合意EU首脳会議で新たな財政規律協定取り組み合意⇒不十分

2011年総括

- 止まらぬ円高（日本の地政学的リスクの高まりでも）
- 米国財政問題から追加緩和によるドル安誘導（格下げでも債券は堅調）
- 欧州債務問題の泥沼化（ギリシャのデフォルト懸念）

2012年為替見通し1

- 長期化する欧州債務問題は更に悪化の可能性
EFSD,ESM等の設立とECBの国債購入拡大は？
- ギリシャデフォルトは欧州にとってポジティブになる可能性も
- 米国景気回復の兆しが見え始めているものの、欧州問題が続く限り追加量的緩和(QE3)への思惑は燻る
- ドイツの格付け引き下げが日本国債の売りを促す恐れも
- 選挙の年・・・**米国**、ロシア、**フランス**、中国、韓国などで2012年は波乱の年
- ドルとユーロのバランスが崩れる時
- 安全資産は？ ドル、円、スイス、金
- ユーロスイスが折り返す時

2012年為替見通し2

- 欧州債務問題が更に悪化する可能性もあるが、米国の景気回復が更に加速すれば世界景気への期待感から欧州問題も落ち着きを見せる可能性も

2012年為替見通し 注目ポイント

- 2012年1～3月に社債の大量償還⇒貸し渋りと国債売却
- 2012年借款必要額イタリア3400億ユーロ(4月末までに1500億ユーロ)、スペイン1200億ユーロ IMF融資能力3800億ドル ⇒リスクに備えたドル需要の高まり
- 12年3月1－2日のEU首脳会議でESM(7月)の5000億ユーロ融資上限枠見直し(ドイツ反対は?)
- 財政規律強化のための26カ国協定は3月初旬までに署名しその後月内に投票
- ユーロ共同債発行承認とECBの国債購入拡大
- ドル円の下落から上昇への転換とスイス上昇の

ドル円見直し

90年3月～95年3月 160円⇒80円 80円下落 5年

山95年9月～98年8月 100円⇒148円 48円上昇 3年 76.4%

98年8月～00年1月 148円⇒101円 47円下落 2年

山00年1月～02年1月 101円⇒135円 34円上昇 2年 76.4%

02年1月～05年1月 135円⇒101円 34円下落 3年

山05年1月～07年6月 101円⇒125円 24円上昇 2.5年
61.8%

07年6月～11年10月 125円⇒75円 50円下落 4.3年

(⇒12年6月？最安値更新？)

ドル円月足チャート1988年～現在



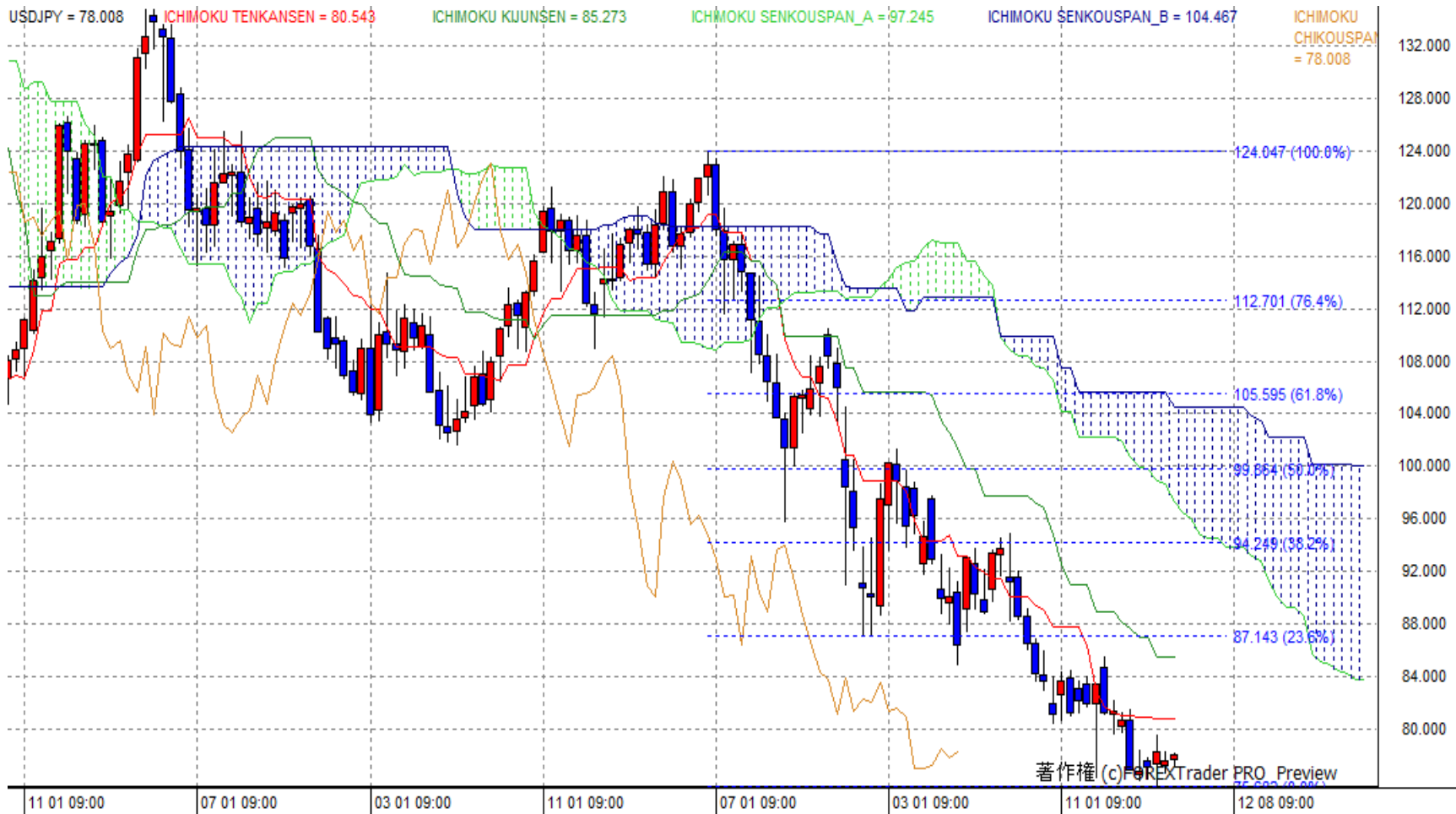
ドル円見通し

- 長期トレンドは依然として下降継続とすれば
次の下値目標値はフィボナッチエクステンション127.2%戻し
⇒**56円**付近(2013年末)
- 75円で一旦底をついたとすれば
山11年10月～13年末 38.2%⇒**95円**(雲の下限)、50%⇒100
円、61.8%⇒105円(雲の上限)

ドル円月足フィボナッチエクステンション



ドル円月足チャートフィボナッチと一目の雲



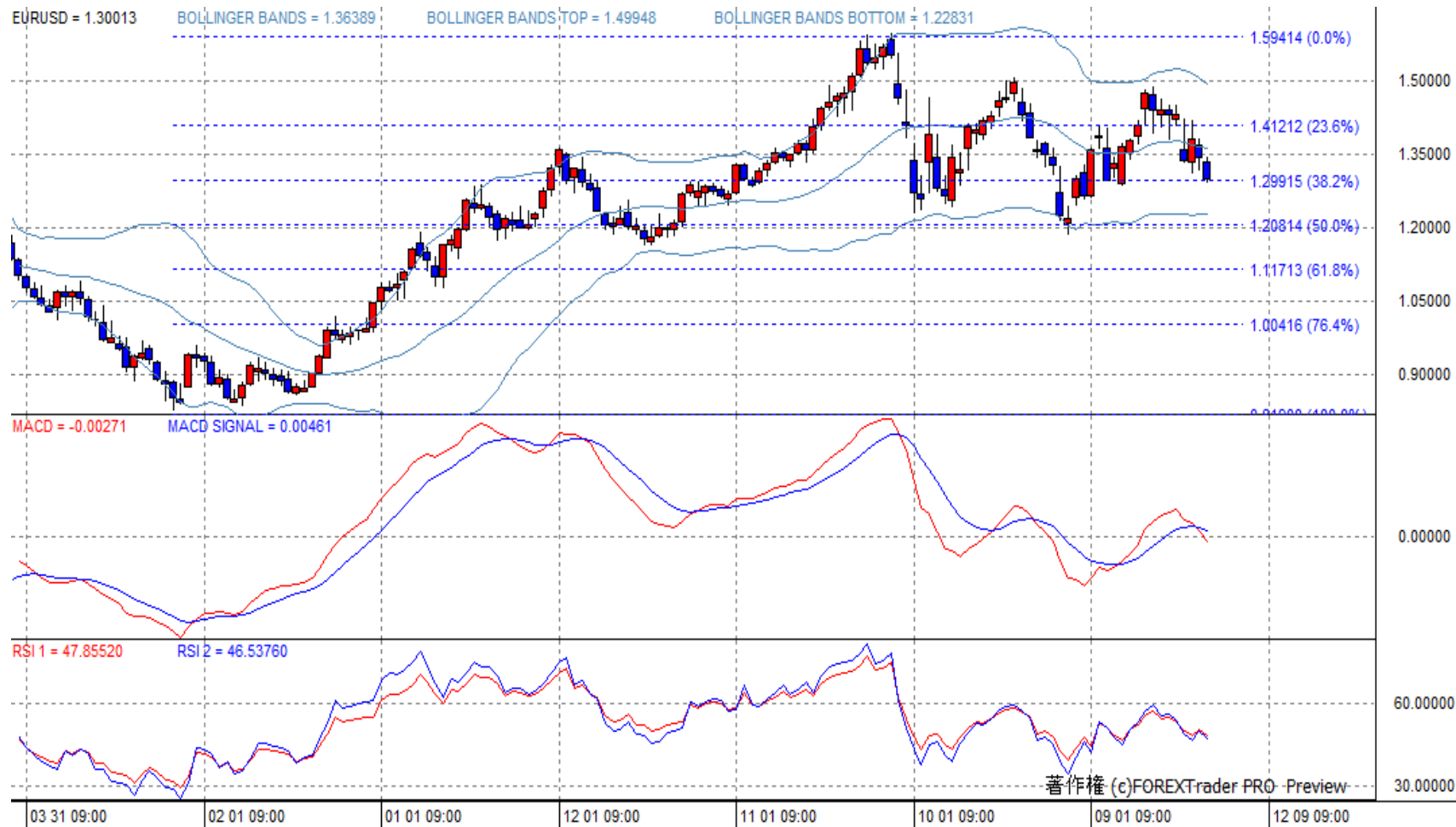
ユーロドル

99年1月～00年10月 1.17⇒0.82 下落
00年10月～04年12月 0.82⇒1.36 上昇
04年12月～05年12月 1.36⇒1.16 下落
05年12月～08年7月 1.16⇒1.60 上昇
00年10月～08年7月 0.82⇒1.60 上昇

- ボリンジャーバンド: 1.5000～1.2200
 - フィボナッチ1.2150(50%)
 - RSI: 11月に50を割り込み20を14が下抜け⇒下落サイン
- MACD: 11月にシグナルをMACDが下抜け、12月にゼロラインを下に
割込み売りサイン

下値目標値1.2ドル付近
上値目標値1.5ドル付近

ユーロドル月足ボリンジャーバンド(25日、2σ)



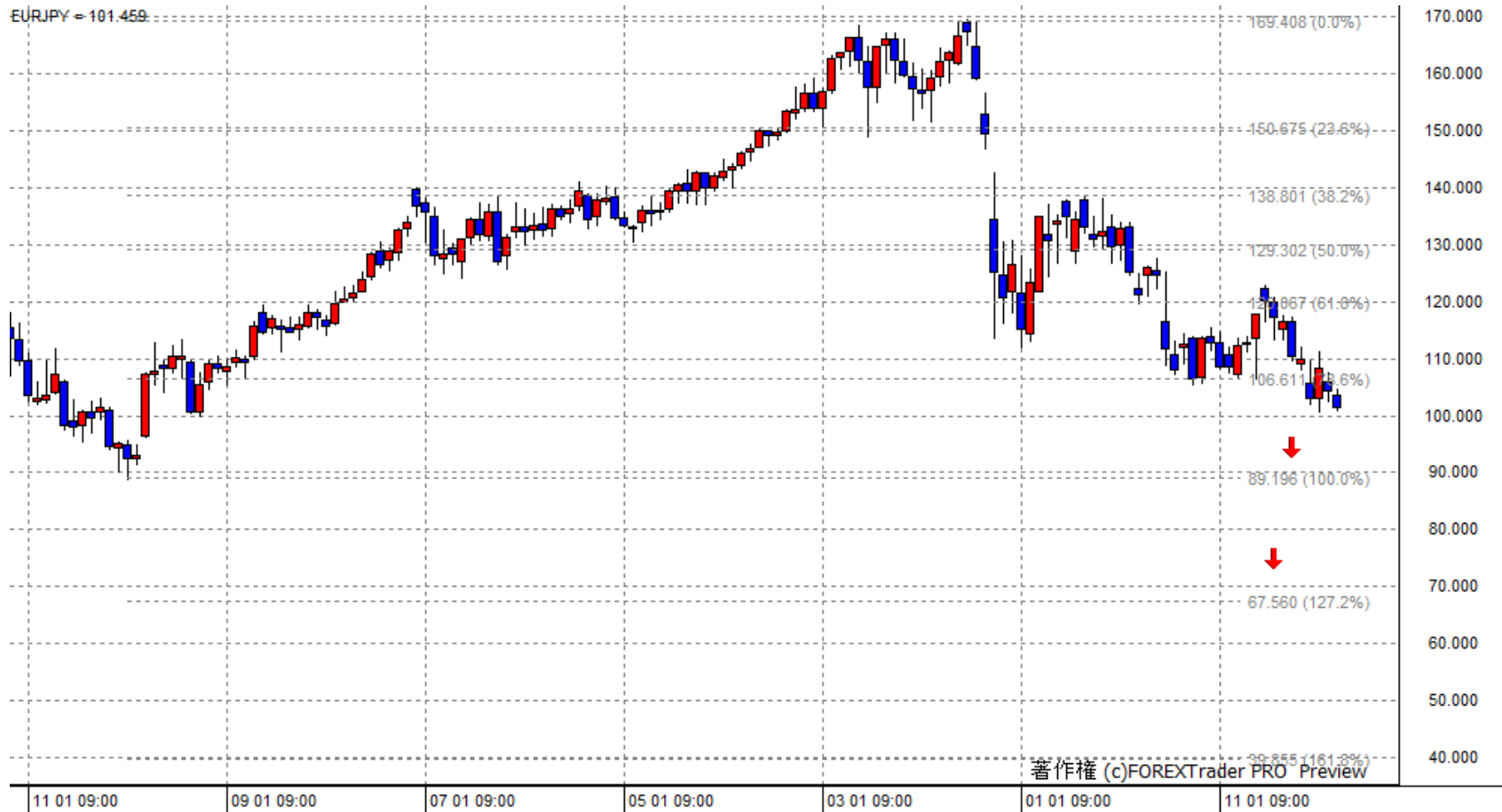
ユーロ円

- 下値目標値・・・フィボナッチエクステンション
100%戻し 2000年10月の安値89円
127.2%戻し 67円

高値目標値

38.2%戻しでもあった136円は過去に長期間もみ合いが続いたレベル

ユーロ円月足フィボナッチ・エクステンション

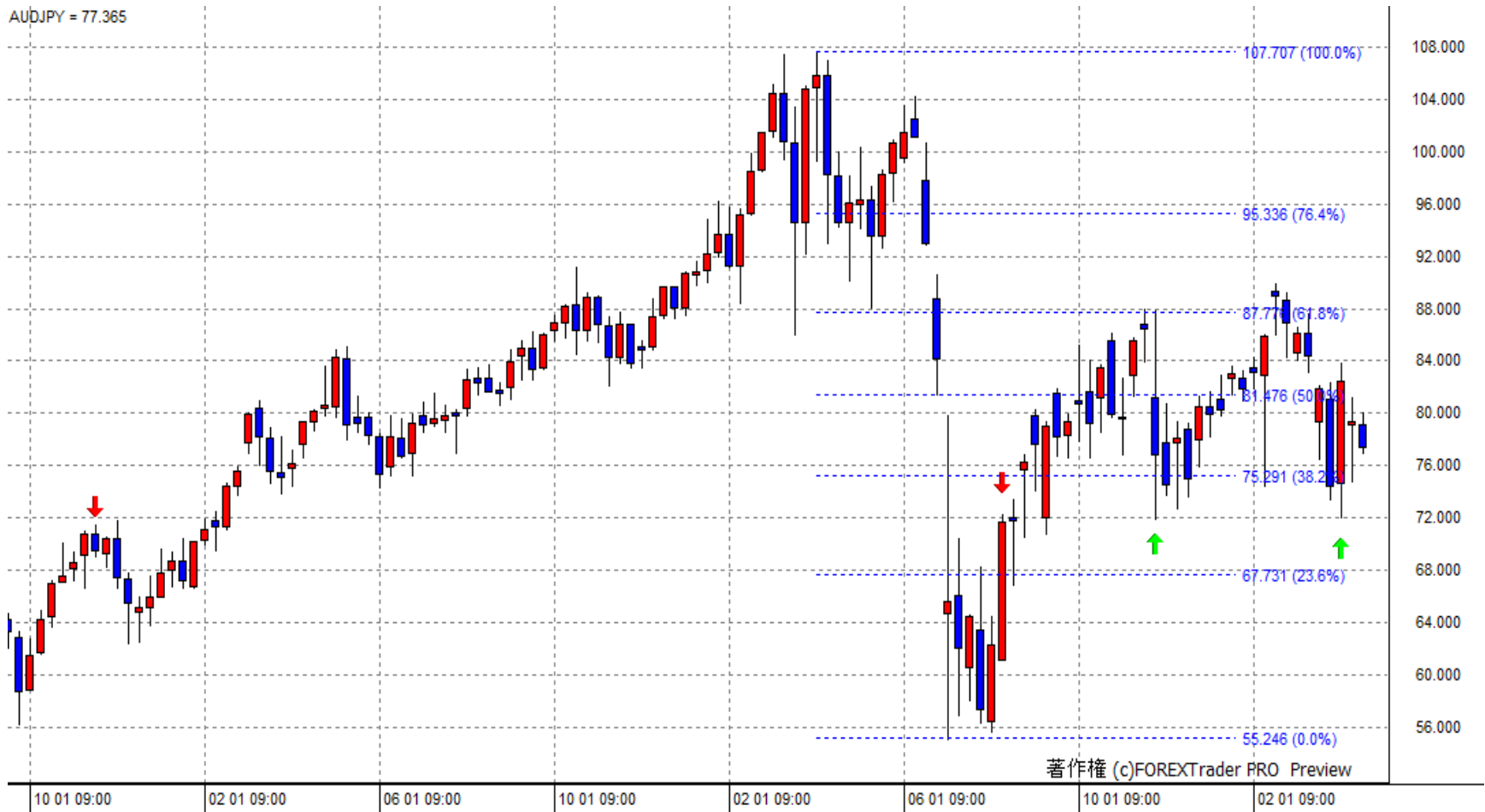


豪ドル円

- 2007年10月の最高値108円⇒2008年10月の最安値55円
⇒2011年4月高値90円⇒同年10月安値72円
 - 88円～80円～72円レンジ内
 - 72円の底値を下回ると68円
-
- ドル豪ドルとドル円が同じ動き(ま逆)で豪ドル円は横ばい
⇒ドル主導型の相場展開
- ※ドル円が上昇に転じる時が豪ドル円の上昇タイミング

豪ドル円月足チャート

AUDJPY = 77.365

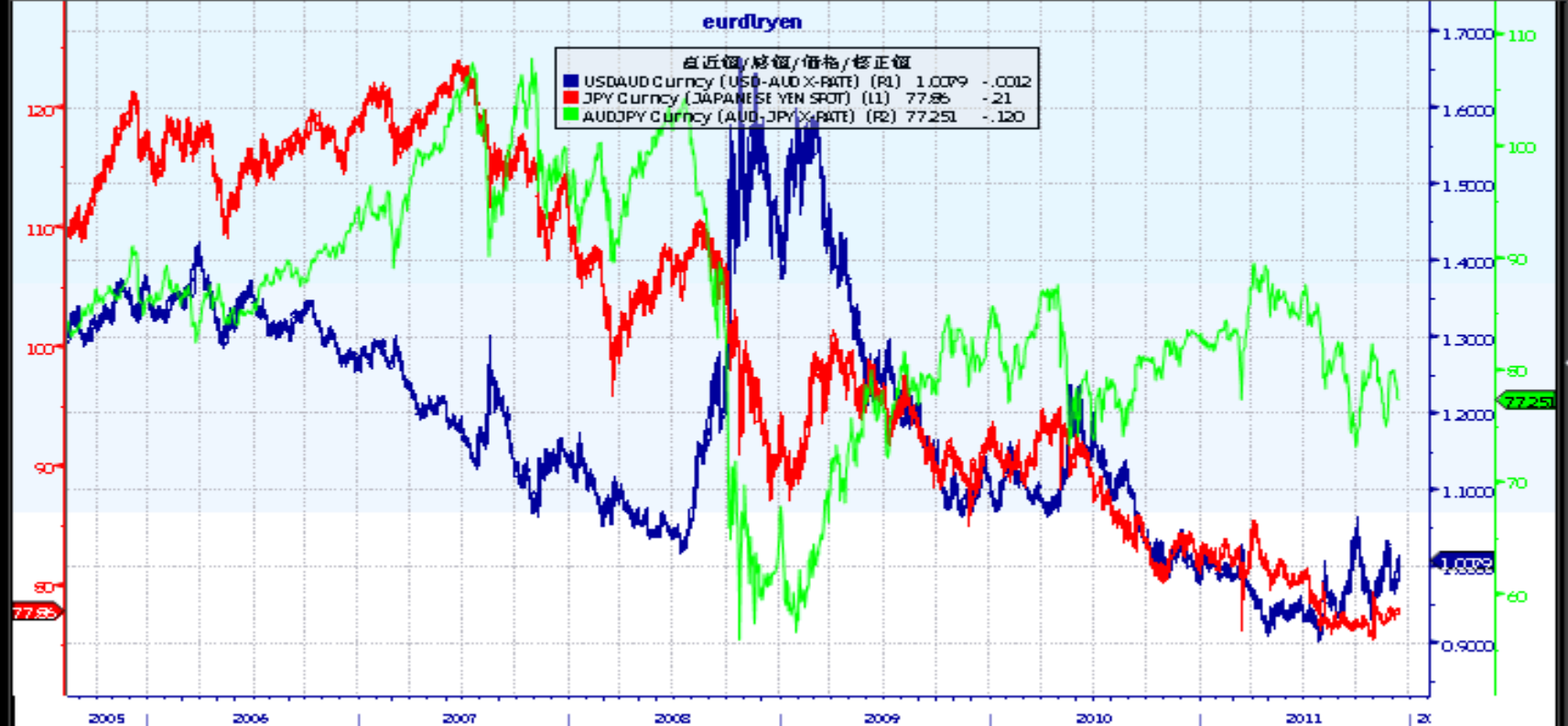


豪ドル円、ドル円、ドル豪ドル日足チャート

USDAUD ↓ 1.0075 +.0057 BGN 1.0074/1.0075 BG CurrencyG

Scr16:51rinted

USDAUD BGN Cu 96) 編集 97) 77337 98) 7747マーク G 40 - eurdryen
 08/15/2005 12/15/2011 日足 配置 重ねグラフ カスタム通貨



Australia 61 2 9777 8600 Brazil 5511 3048 4500 Europe 44 20 7330 7500 Germany 49 69 9204 1210 Hong Kong 852 2977 6000
 Japan 81 3 3201 8900 Singapore 65 6212 1000 U.S. 1 212 318 2000
 Copyright 2011 Bloomberg Finance L.P.
 SN 167525 H431-65-3 19-Dec-11 16:51:00 GMT+9:00

ユーロスイス

- 9月6日SNBはユーロスイス1.2フランを断固たる決意で防衛 無制限介入を実施
- 安定すれば今後1.3フランを目指す
- ユーロドル以上にドル安がスイスを押し上げていた
- ドルスイスの上値0.97フラン(23.6%、ボリンジャー中心線)が抜ければ1.13フラン(38.2%、ボリンジャー上限)
- 下値は最安値0.7080
- 米国のQE3が実施によりスイス安が転換する可能性大

ユーロスイス(赤)、ユーロドル(青)、ドルスイス(緑) 月足チャート

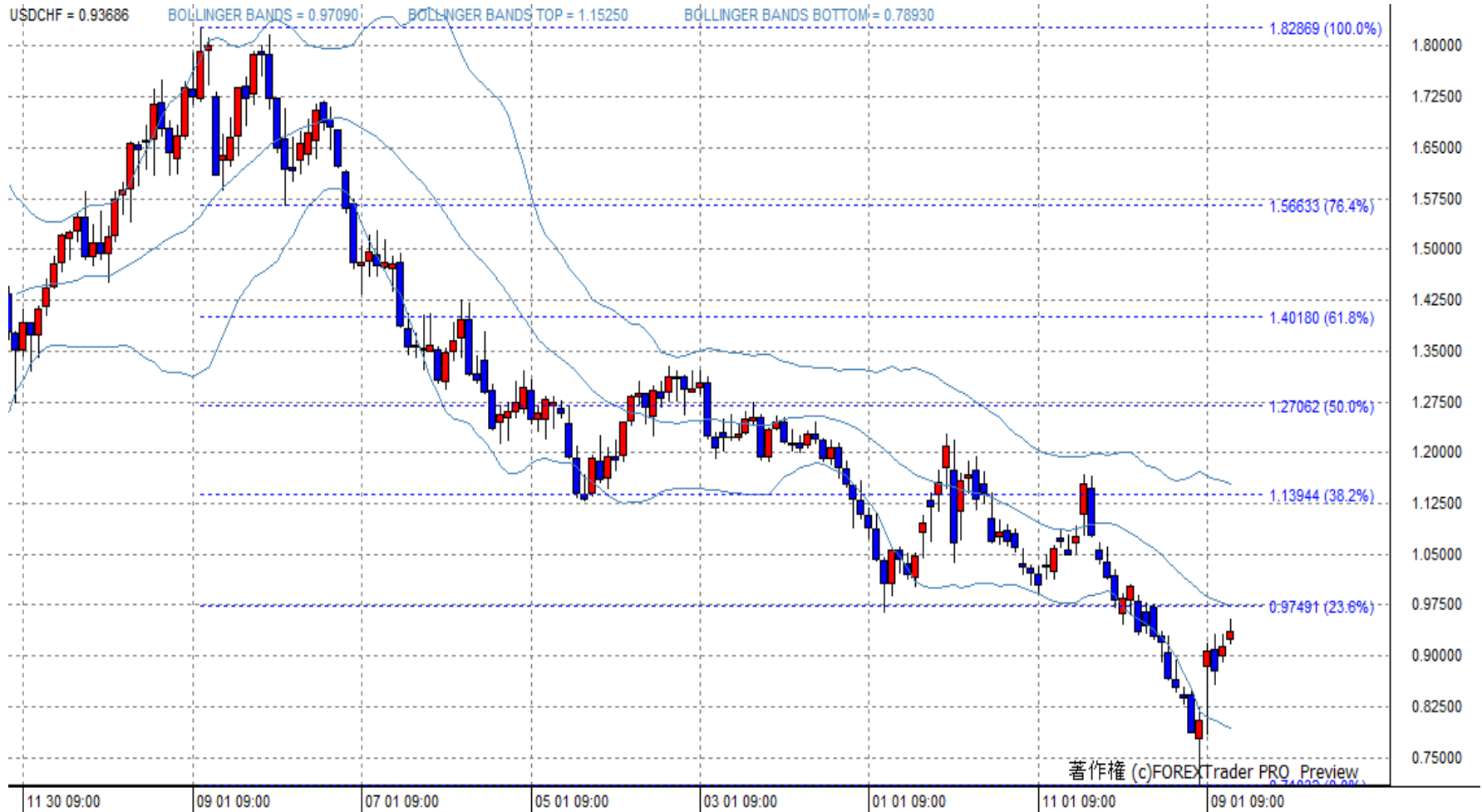
EUR ↓ 1.3010 - .0036 BGN 1.3010/1.3011 BGN CurrencyG
 At 17:03 Op 1.3023 Hi 1.3051 Lo 1.2983 Close 1.3046 Value 12/21/11

EUR BGN Currency 96) 編集 97) 77シヨソ 98) 77マ7 G 40 - eurdryen
 08/31/1995 12/15/2011 月足 配置 カスタム カスタム通貨



Australia 61 2 9777 8600 Brazil 5511 3048 4500 Europe 44 20 7330 7500 Germany 49 69 9204 1210 Hong Kong 852 2977 6000
 Japan 81 3 3201 8900 Singapore 65 6212 1000 U.S. 1 212 318 2000 Copyright 2011 Bloomberg Finance L.P.
 SN 167525 H431-65-3 19-Dec-11 17:03:00 GMT+9:00

ドルスイス月足、ボリンジャーとフィボナッチ



ユーロポンド月足

EURGBP = 0.83915

